

**PRESS RELEASE**

2002年 7月 8日 株式会社 富士経済  
〒103-0001 東京都中央区日本橋  
小伝馬町 2-5 F-Kビル  
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-6093  
URL <http://www.fuji-keizai.co.jp>

**「2002 セキュリティ関連市場\*の将来展望」調査を発行**

- 2004年のセキュリティ機器・システム・サービス市場を5000億円超と予測 -

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋 原 務社長 03-3664-5811)は、「画像処理技術」・「ネットワーク社会化」など技術環境の急激の変革と近い将来技術基盤が確立すると予想される「無線技術」に注目してトレンド分析を行い、過去7年間に亘るセキュリティ関連市場の時系列データの更新を行って当該市場の将来性を報告する。

セキュリティー関連市場全体は2004年には、5,018億円(2001年実績4,455億円比12.7%増)の規模に成長すると予測する。

機器/システム市場では4,593億円で、10.4%の成長見込み。また、サービス/プロバイダー市場は426億円の見通しで、42.3%の大幅な伸びを見込む。

\* セキュリティ関連市場とは一般家庭、企業、官公庁等のセキュリティを管理する機器・システム・サービス等を言い、今回の調査ではPC上のセキュリティは除外している。

注目される個別成長市場は

ネットワーク(Web)対応カメラ/サーバ(2004年予測 270億円 対2001年成長率140%)  
現在 Web カメラ市場全体に占めるセキュリティ用の比率は10~20%。今後、ネットワーク利用への不安、コスト高などの課題が解消され、02年度を本格化の開始時期としてその後堅調な拡大を続けると見込まれる。

バイオメトリクス(生体認識)装置(2004年予測 156億円 対2001年成長率105%)  
この技術は、1980年代後半から指紋認証を中心に高い機密性を要する分野で導入されて来たが高価で特殊な市場であった。しかし最近では半導体センサの指紋認識タイプで小型・軽量化され携帯、PDA などへの組み込みも可能となってきた。携帯機器との連携が進めば飛躍的な伸張が期待出来る。

自動車盗難防止装置(2004年予測 55億円 対2001年成長率129%)  
自動車の盗難は1999年頃から急激に増加し始めており、2000年度では約56,000件を超えた。この防止装置は当初アラームタイプがほとんどであったが、最近では PHS・携帯電話と連動して異常を即座に通報あるいは追跡する高機能タイプが出てきている。一方では、専用ユニットを使って車両の位置検索を行うサービス(位置検索サービス:2004年予測 24億円 対2001年成長率111%)も警備会社を中心に急速に伸びている。ユーザーの自動車に対するセキュリティ意識の変化を背景に、今後も伸張してゆく市場として非常に注目される。また、今後は、部品メーカー、警備会社、携帯電話メーカー、S(システムイノベーション)ベンダ、保険会社など異業種との連携も進み、様々な形態での市場が形成されていく。

在室/安否確認システム(2004年予測 8億円 対2001年成長率400%)  
高齢化社会の進展と共に進むその独居生活者の増加は、在室・安否確認ニーズを顕在化し、新市場として当該市場が形成され始めている。異常時判定の基準設定で安定した技術への革新が進むにつれて、04年にかけて急激に拡大していく見込である。注目製品のひとつとして心拍数などのバイタルデータ収集機能付浴室給湯器など。

ホームセキュリティサービス/システム (サービス:2004年予測 365億円 対2001年成長率42% システム(自主警備系):2004年予測10億円 対2001年成長率96%)

ホームセキュリティ市場は、従来警備会社が提供しているサービス市場が中心となっていたが、ここに来て、導入者自身による自己管理を行う自主警備系のホームセキュリティシステム市場も拡大している。前者では、従来の警備・防災管理の範疇から緊急通報/在室・安否確認/位置検索などのサービスとの複合化が、後者では、監視カメラ/携帯電話などとのシステム化による、より機動的なシステムへの発展が見込まれる。

## 調査の概要

調査期間： 2002年3～6月

調査方法： 弊社専門調査員の対象メーカーおよびデベロッパーなどへのヒアリング調査

調査対象品目 :全24品目

### 1.機器/システム市場

#### A.設備セキュリティ

- ☒ 中央監視盤
- ☒ 火災用受信機
- ☒ 無停電電源装置
- ☒ 自動通報装置
- ☒ 入退室管理システム
- ☒ 万引き防止装置

#### B.センサセキュリティ

- ☒ 侵入センサ
- ☒ ガス漏れ警報器
- ☒ 火災用感知器
- ☒ 在室・安否確認システム
- ☒ バイオメトリクス装置
- ☒ 自動車盗難防止装置

#### C.ホームセキュリティ

- ☒ ピッキング対策錠
- ☒ 家庭用住宅情報盤
- ☒ ホームセキュリティシステム

#### D.画像セキュリティ

- ☒ 画像監視システム
  - 1.監視カメラ
  - 2.暗視カメラ(赤外線カメラ/近赤外線カメラ)
- ☒ デジタルレコーダ
- ☒ テレビドアホン
- ☒ ネットワーク対応(Web)対応カメラ/サーバ
- ☒ X線透視装置

### 2.サービス/プロバイダー市場

#### サービスセキュリティ

- ☒ 位置検索サービス
- ☒ 緊急通報サービス
- ☒ ホームセキュリティ/サービス

資料タイトル：2002セキュリティ関連市場の将来展望

体 裁：A4判 211ページ

価 格：101,850円(本体価格97,000円 消費税4,850円)

発 刊 日：2002年6月18日

調査・編集：大阪マーケティング本部 第1部

TEL: 06-6228-2020(代) FAX: 06-6228-2030

発 行 所：(株)富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル

TEL 03-3664-5811(代) FAX 03-3661-6093

e-mail:info@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。URL <http://www.fuji-keizai.co.jp>

# 報告書目次

.総括	
1.セキュリティ機器 / システムの役割と市場におけるポジショニング	1
2.セキュリティ関連機器 / システムにおける今後の有望需要分野	2
3.メーカーシェア一覧	3
4.注目技術動向	13
5.ホームセキュリティの今後の方向性	15
1)ホームセキュリティの対象範囲とそれを取り巻く環境	15
2)提供サイトの参入形態	17
3)潜在需要家層への対象ターゲット	18
4)マンションデベロッパ / ハウスメーカーサイトから見た セキュリティに対する認識	26
.個別機器 / システム市場	35
1.中央監視盤	35
2.火災用受信機	41
3.無停電電源装置	48
4.自動通報装置	56
5.火災用感知器	63
6.ガス漏れ警報器	70
7.侵入センサ	76
8.家庭用住宅情報盤	83
9.テレビドアホン	88
10.ピッキング対策錠	94
11.万引き防止装置	100
12.自動車盗難防止装置	109
13.X線透視装置	115
14.入退室管理システム	120
15.映像監視システム	129
.注目機器 / システム市場	137
1.監視カメラ	137
2.暗視カメラ	147
3.ネットワーク対応 (Web)対応カメラ / サーバ	155
4.デジタルレコーダ	162
5.バイオメトリクス装置	171
6.位置検索サービス	183
7.在室 安否確認システム	190
8.緊急通報サービス	196
9.ホームセキュリティシステム / サービス	202

### セキュリティ機器/システム/サービスの役割と市場ポジショニング

